

息のむ大迫力

全力で角を突き合う牛たち。その大迫力は観客が息をのむほど



復興支援「平庭闘牛大会」

白熱 歓声響く

それ、いげー!!



東日本大震災復興支援「平庭闘牛大会つじ場所（いわて平庭高原闘牛場主催）」は6月12日、平庭高原市などの被災者約100人を無料で招待して元気づけたほか、会場では義援金の協力も呼び掛けました。天候にも恵まれ、今場所は定期大会過去最高の1500人を集客。特に後半の取り組みは白熱し、巨体が角を突き合うたびに、会場には大きな歓声が響きわたりました。

6月14日には、同闘牛会の松坂義雄会長が、東京奄美会有志からの義援金と収益の一部を市に寄付。今震災では、闘牛で交流がある全国の市町村からも支援が寄せられています。



勢子やスタッフは背中でもエール観客の視線くぎ付け。闘牛を満喫場所終了後には義援金の協力を呼び掛け。多くの支援が寄せられました

迫力に興奮

私も畜産業。普段接する牛とは違う闘牛の迫力になかなか興奮しました。子どもたちも喜んでいました！



伊藤勝義 さん (盛岡市)

INTERVIEW

勧めに納得

人から勧められ初めて来場。牛が全力でぶつかる想像以上の迫力に驚きました。勧める理由に納得です！



金子勇三 さん (盛岡市)

編集後記

▶函館の皆さんの熱い、熱い支援に感謝。義援船が到着したときは本当に感動しました▶6月23日と24日、義援船を利用した漁では、久喜漁業生産部と二子漁業生産部の船に乗せてもらいました。漁業者の皆さんの表情は生き生き。本当にうれしそうでした▶ただ23日は大雨。袋をかぶせてもタオルでふいても、カメラはずぶぬれで写真は失敗ばかり。本当にすみません。もっとしっかりとした備えが必要だと反省しました▶備えが必要なのは避難も一緒。23日は震度4の地震で津波注意報も発表になりました。まだまだ油断はできません。災害から命を守るために「すぐに避難」をみんなで心掛けていきましょう。(八重桜)

大石愛実
ちゃん(2歳)
大石純夫さんの孫(寺里)

舩森奏世
ちゃん(2歳)
舩森友拓さん、真由美さんの次女(栄町)

未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎02-2116)に応募ください。写真はお返しします。